

# 日本アジア投資株式会社

## 2022年3月期 第2四半期

### 決算補足資料

決算発表日：2021年11月12日

(ご注意) 本資料に記載された事項は、資料作成時点での当社の判断であり、その情報の正確性を保証するものではありません。また、今後予告なしに変更されることがあります。本資料に含まれる意見や予測などについては、様々な要因の変化により、実際の業績や結果とは大きく異なる可能性があることをご留意下さい。また、本資料は情報の提供のみを目的としており、当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的とするものではありません。なお、本資料内の業績数値は全て従来連結基準にて表示しております。

1. 総括	P3
2. 当四半期の実績（前年同期比較）	P4
3. 業績予想	P9
4. 中期経営計画の進捗状況	P12
5. 参考情報	P20

（ご注意）本資料内の業績数値は全て従来連結基準にて表示しております。

## ✓ 当四半期の実績（前年同期比較）

- 営業収益381百万円(△29.6%)、最終赤字△643百万円(307百万円赤字拡大)
- 上場株式の売却の減少、売電収入の減少により減収
- 株式売却益の減少、評価損・投資損失引当金繰入額の増加により赤字幅拡大

## ✓ 業績予想

- 通期の業績予想に変更なし
- 上期の計画比下振れ（営業収益達成率54.4%、赤字幅約4億円拡大）を、下期の売却益上振れが補う見込み

## ✓ 中期経営計画の進捗状況

### 経営理念に基づきSDGsを強く意識した投資活動を徹底する

- ディストリビューションセンター：埼玉県狭山市の施設に投資実行（4月）  
埼玉県越谷市の施設が竣工（10月）
- スマートアグリ：兵庫県丹波篠山市で第2弾となる植物工場を増設（9月）
- 障がい者グループホームを投資対象とするファンドに出資（8月）、  
当社3件目となる栃木県宇都宮市のグループホームが営業開始（9月）
- 当社設立40周年を記念して「金融機関.YOM」当社特集号が発刊  
SDGsの掲げる持続的な経済発展に貢献する当社の投資事例を豊富に紹介

## 2. 当四半期の実績（前年同期比較）



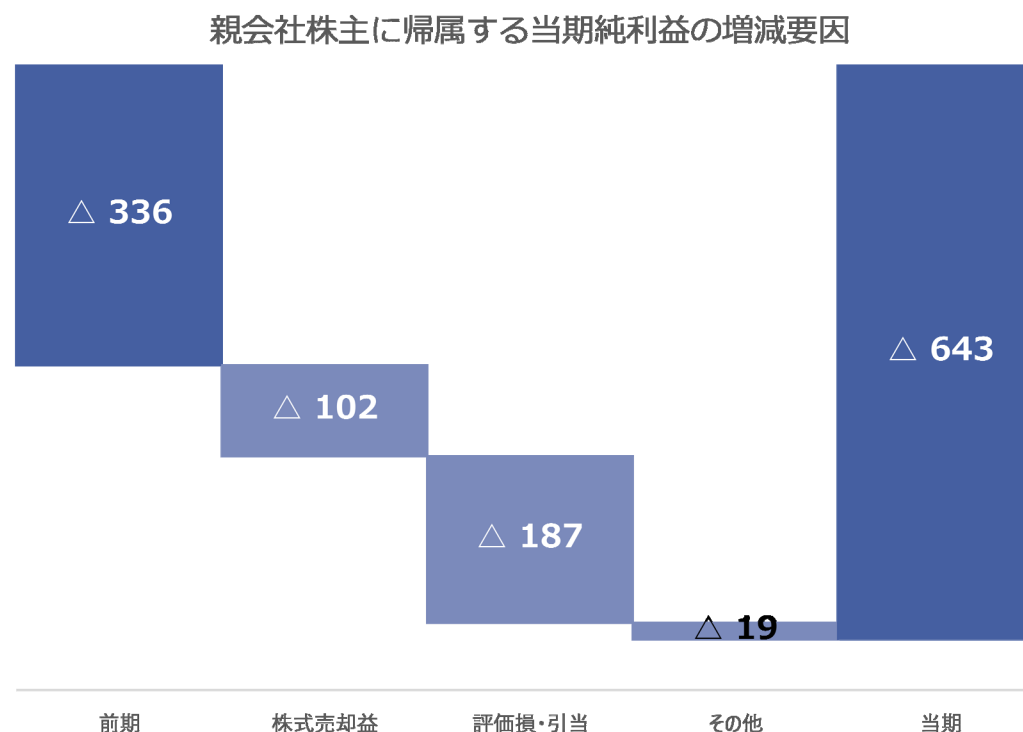
ハイライト P5

営業収益・営業原価内訳 P8

## 2. 当四半期の実績-ハイライト P/L



(単位: 百万円)	2021/3期 2Q	2022/3期 2Q	
	実績	実績	
	金額	金額	増減率
営業収益	541	381	△29.6%
営業原価	313	327	4.4%
営業総利益	227	53	△76.4%
販管費	544	550	1.2%
営業利益	△316	△496	-
経常利益	△335	△538	-
親会社株主に帰属する当期純利益	△336	△643	-



### ✓ 減収要因：

- ・ 利益率の高い上場株式の売却額が減少
- ・ 前期に一部の売電中メガソーラープロジェクトを売却したため、売電収入が減少

### ✓ 赤字幅拡大要因：

- ・ 売却益よりも資金回収を優先して流動化した未上場株があったため、株式売却益が減少
- ・ 業況の悪化した投資先企業に対する、評価損や投資損失引当金繰入額が増加

## 2. 当四半期の実績-ハイライト B/S



(単位：百万円)	2021/3期末	2022/3期(2Q)末		
	金額	金額	増減率	主な増減要因 (単位：億円)
<b>総資産</b>	14,657	<b>13,740</b>	<b>△6.3%</b>	
うち 現預金	3,699	↓ <b>2,015</b>	<b>△45.5%</b>	返済△7、投融資△14、費用等△5、回収+9
うち プロジェクト投資 (営業投資有価証券・貸付金)	5,583	↑ <b>6,475</b>	<b>16.0%</b>	投融資実行+9
うち 戦略投資 (営業投資有価証券)	1,155	↑ <b>1,483</b>	<b>28.4%</b>	投資実行+4
うち フィナンシャル投資 (営業投資有価証券(引当後))	3,111	↓ <b>2,974</b>	<b>△4.4%</b>	投資実行+1、分配・売却△2
<b>借入金</b>	6,950	↓ <b>6,253</b>	<b>△10.0%</b>	返済△7
<b>自己資本</b>	7,338	<b>6,640</b>	<b>△9.5%</b>	利益△6.4、含み損益△0.5

- ✓ 投資回収に先行して投資実行や借入金返済が進んだため、現預金が一時的に減少
- ✓ フィナンシャル投資からプロジェクト投資・戦略投資への資産入替が進行中
- ✓ 将来の成長に向けた投資資金を確保した上で借入金を返済し、残高を着実に圧縮

## 2. 当四半期の実績-ハイライト C/F



(単位：百万円)	2021/3期 2Q	2022/3期 2Q
営業活動によるCF	326	↓ <b>△1,232</b>
投資活動によるCF	<b>△13</b>	<b>55</b>
財務活動によるCF	<b>△697</b>	<b>△697</b>
CF増減額	<b>△396</b>	<b>△1,855</b>
期末残高	2,326	<b>1,445</b>

✓ 営業CF：投資の回収が減少した一方で投資実行が進捗したため、マイナスに転じた

## 2. 当四半期の実績 – 営業収益・営業原価 内訳



(単位：百万円)	合計		プライベートエクイティ投資		プロジェクト投資	
	2021/3期 2Q	2022/3期 2Q	2021/3期 2Q	2022/3期 2Q	2021/3期 2Q	2022/3期 2Q
営業収益	541	381	402	293	139	87
管理運営報酬等	82	81	79	77	3	3
営業投資有価証券売却高	232	176	232	176	0	-
組合持分利益・インカムゲイン等	198	95	85	32	113	63
その他営業収益	26	27	4	7	22	19
営業原価	313	327	239	292	74	35
営業投資有価証券売却原価	85	131	85	131	0	0
営業投資有価証券評価損・ 投資損失引当金繰入額	△62	124	△62	124	-	-
組合持分損失等	285	66	213	34	72	31
その他営業原価	3	4	2	1	1	2
営業総利益	227	53	162	1	64	51

- ✓ プライベートエクイティ投資：減収・減益
  - ・ 営業収益（売却高）：上場株式の売却額が減少
  - ・ 営業原価（売却原価）：売却益よりも資金回収を優先して未上場株を流動化したため増加  
（評価損・引当金）：業況の悪化した投資先企業への計上額が増加
- ✓ プロジェクト投資：減収・減益
  - ・ 営業収益（組合持分利益）：前期に売電中のプロジェクトの一部を売却したため減少
  - ・ 営業原価（組合持分損失等）：植物工場の先行費用が減少



業績見込値の詳細 P10

将来に関する記述等についてのご注意 P11

### 3. 業績予想－業績見込値の詳細



単位：百万円	2022/3(2Q) 実績	上期見込 (期初発表値)		通期見込 (期初発表数値)	
	金額	金額	達成率	金額	進捗率
営業収益	381	700	54.4%	2,950	12.9%
営業原価	327	360	90.9%	1,320	24.8%
営業総利益	53	340	15.8%	1,630	3.3%
販管費	550	560	98.3%	1,120	49.2%
営業利益	△496	△220	-	510	-
経常利益	△538	△250	-	430	-
親会社株主に帰属する当期純利益	△643	△250	-	340	-

- ✓ 通期業績見込みの修正なし。上期の下振れを、下期の株式売却益上振れが補う見込み
- ✓ 上期は、見込んでいた未上場株式の売却が来期以降にずれ込んだほか、見込外で他社ファンドからの特別損失が発生し、計画比下振れ（営業収益達成率54.4%、赤字幅約4億円拡大）
- ✓ 下期は、期初見込外の国内投資先の新規上場により株式の売却益が増加見込み、メガソーラーを始めとするプロジェクトの売却も期初計画通り見込む

- ✓ 業績予想につきましては、当社グループが展開するプライベートエクイティ投資はその事業特性上株式市場等の変動要因による影響が極めて大きく、加えて昨今の変動の激しい環境下においては合理的な業績予想が困難なため、当社は業績予想を行っておりません。
- ✓ しかしながら、投資家及び株主の皆さまの利便に資するべく、業績予想に代えて、ある一定の前提を元に策定した「従来連結基準による見込値」を、数値の確度は低いものの、参考情報として開示しております。
- ✓ なお、当該「従来連結基準による見込値」をはじめとする本資料に掲載されている全ての将来に関する記述は、当社が現時点において入手している情報及び一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。実際の数値は様々な要因により記述されている内容とは大きく異なる可能性があります。

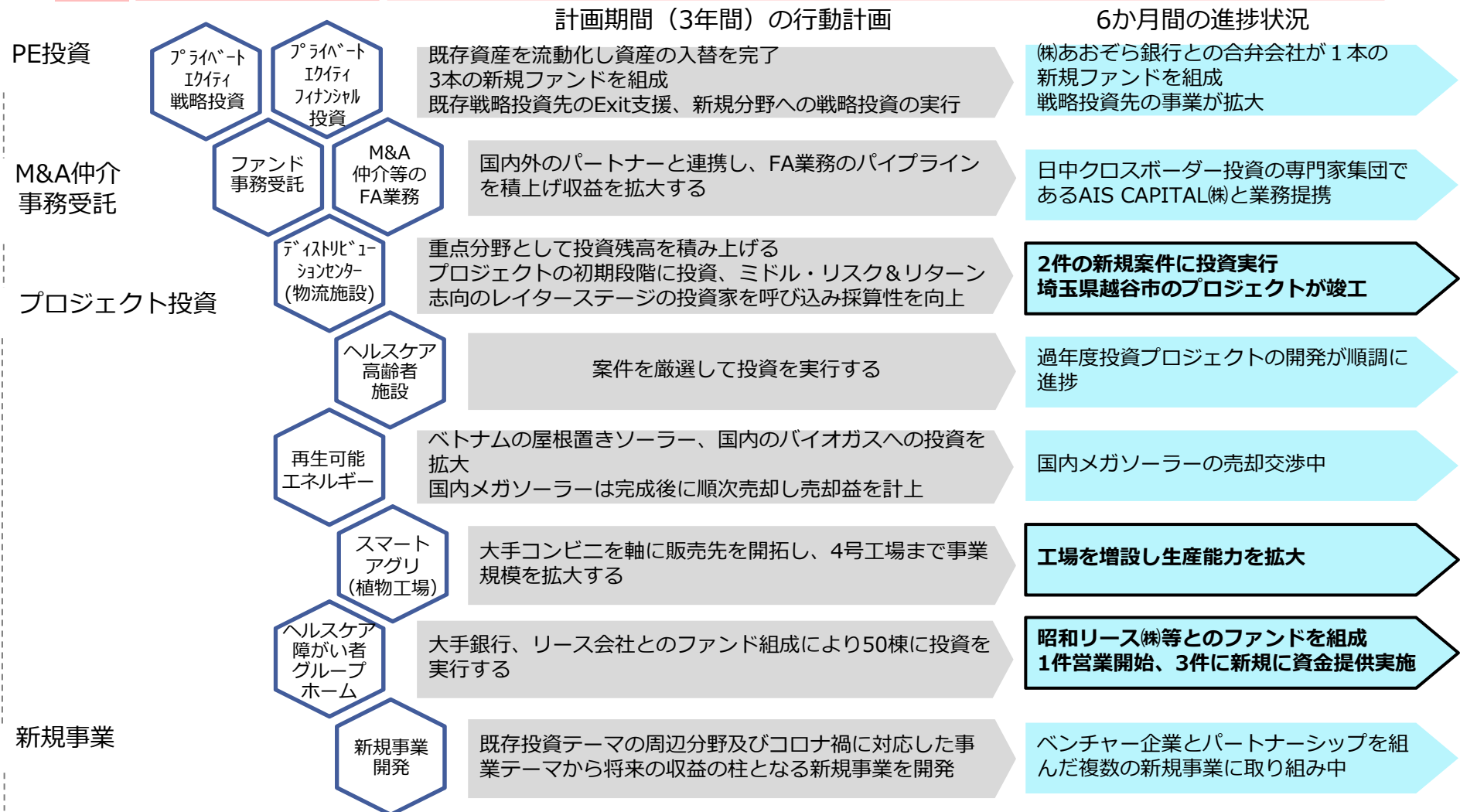
全体像	P13
ディストリビューションセンタープロジェクト	P14
スマートアグリプロジェクト	P16
ヘルスケアプロジェクト（障がい者グループホーム）	P17
当社40周年記念「金融機関.YOM」40号	P19

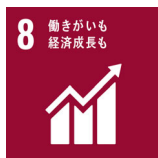
# 4. 中期経営計画の進捗状況 – 全体像

事業  
戦略

JAICの強み  
“パートナー戦略”

競争優位性の高いベンチャー企業を発掘し、事業ポートフォリオの拡大を図り、  
将来の事業の柱へと育成する “VCとして培った企業発掘力を活かす”





## KIC狭山日高ディストリビューションセンター

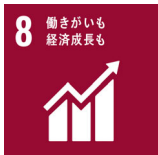


パートナー企業  
KICホールディングス  
株式会社

完成予想図



所在地	埼玉県狭山市
アクセス	圏央自動車道「狭山日高IC」より約500m、 西武新宿線「狭山市駅」より約4.8km
物件概要 (予定)	延床面積約15,123m <sup>2</sup> 、 地上4階建
竣工予定	未定



パートナー企業  
KICホールディングス  
株式会社

## KIC越谷ディストリビューションセンターが竣工（2021年10月）



- ✓ 道路付の悪い土地を、KICホールディングスの開発力により、交通が至便な好立地に仕立てて完成
- ✓ 複合型電力供給システムを備え、施設の利用電力の60%を太陽光で賄う、低環境負荷型物流施設

所在地	埼玉県越谷市
アクセス	東北自動車道「浦和IC」より約6km 東武スカイツリーライン「大袋駅」より徒歩約10分
物件概要	延床面積：11,250m <sup>2</sup> 、地上4階建



内覧会の様子



## リーフレタスを栽培する丹波篠山工場を増設 生産能力は2.3倍に拡大見込み



パートナー企業  
株式会社  
森久エンジニア  
リング



手前：第2工場（増設部分）、奥：第1工場（既設部分）



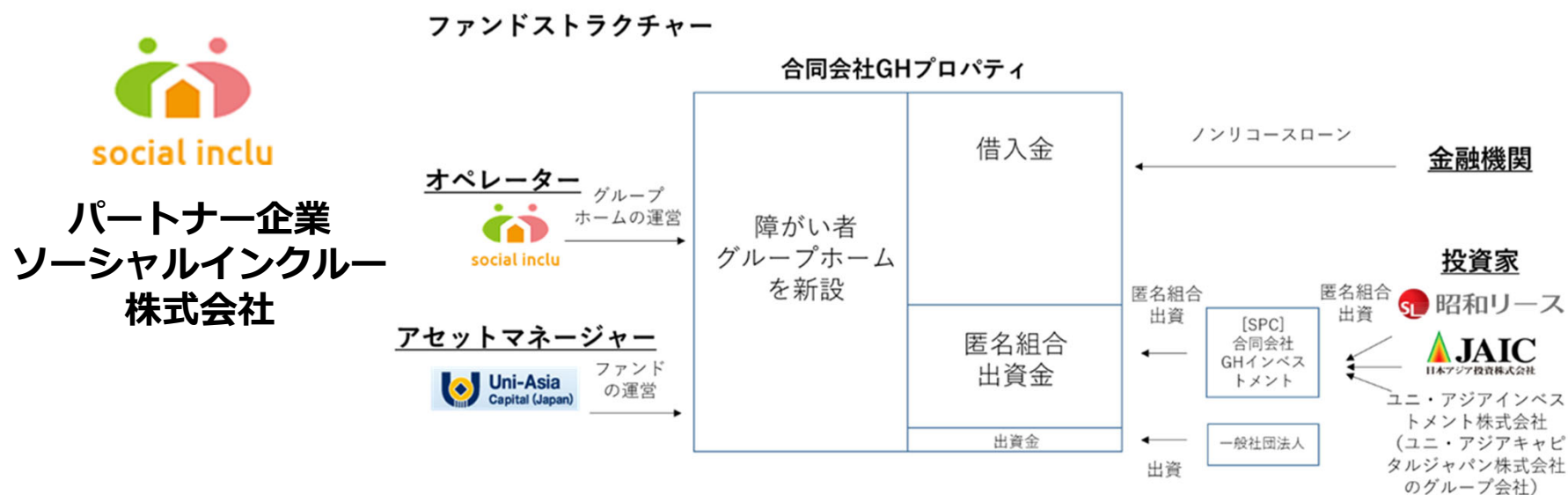
第1工場（既設部分）概要	
稼働時期	2019年3月
工場形態	完全閉鎖型植物工場
栽培品目	リーフレタス
年間生産量	約200トン

第2工場（増設部分）概要	
稼働時期	2021年12月 本格稼働予定
工場形態	完全閉鎖型植物工場
栽培品目	リーフレタス
年間生産量	約270トン





## 昭和リース(株)、ユニ・アジアキャピタルジャパン(株)と共同でファンドに匿名組合出資 戦略投資先ソーシャルインクルーの事業拡大を支援



ファンド名	合同会社GHプロパティ
匿名組合出資者	合同会社GHインベストメント (匿名組合出資者；昭和リース株式会社、ユニ・アジアインベストメント株式会社、日本アジア投資株式会社)
グループホームオペレーター	ソーシャルインクルー株式会社
投資対象	24時間支援体制の日中サービス支援型障がい者グループホーム (ソーシャルインクルーホーム船橋市金杉、ソーシャルインクルーホーム熱海緑ヶ丘、他)

## 4.中期経営計画の進捗状況－障がい者グループホームが営業開始



11 住み続けられる  
まちづくりを



### ソーシャルインクルーホーム宇都宮宝木町



パートナー企業  
ソーシャルインクルー  
株式会社



所在地	栃木県宇都宮市
部屋数	入居者用20部屋 短期入所用2部屋
グループ ホーム種類	日中サービス支援型
営業開始	2021年9月



当社は2021年7月に設立40周年を迎えました。ひとえに皆様方のご支援ゆえと深謝致します。

私共と長年おつきあいのあるリッキービジネスソリューション株式会社より、これに因み、当社の記念特集号として、同社の機関紙「金融機関.YOM」40号を発刊していただきました。

当社のSDGs投資の取り組みを、事例を交えてご紹介しています。ぜひご覧ください。

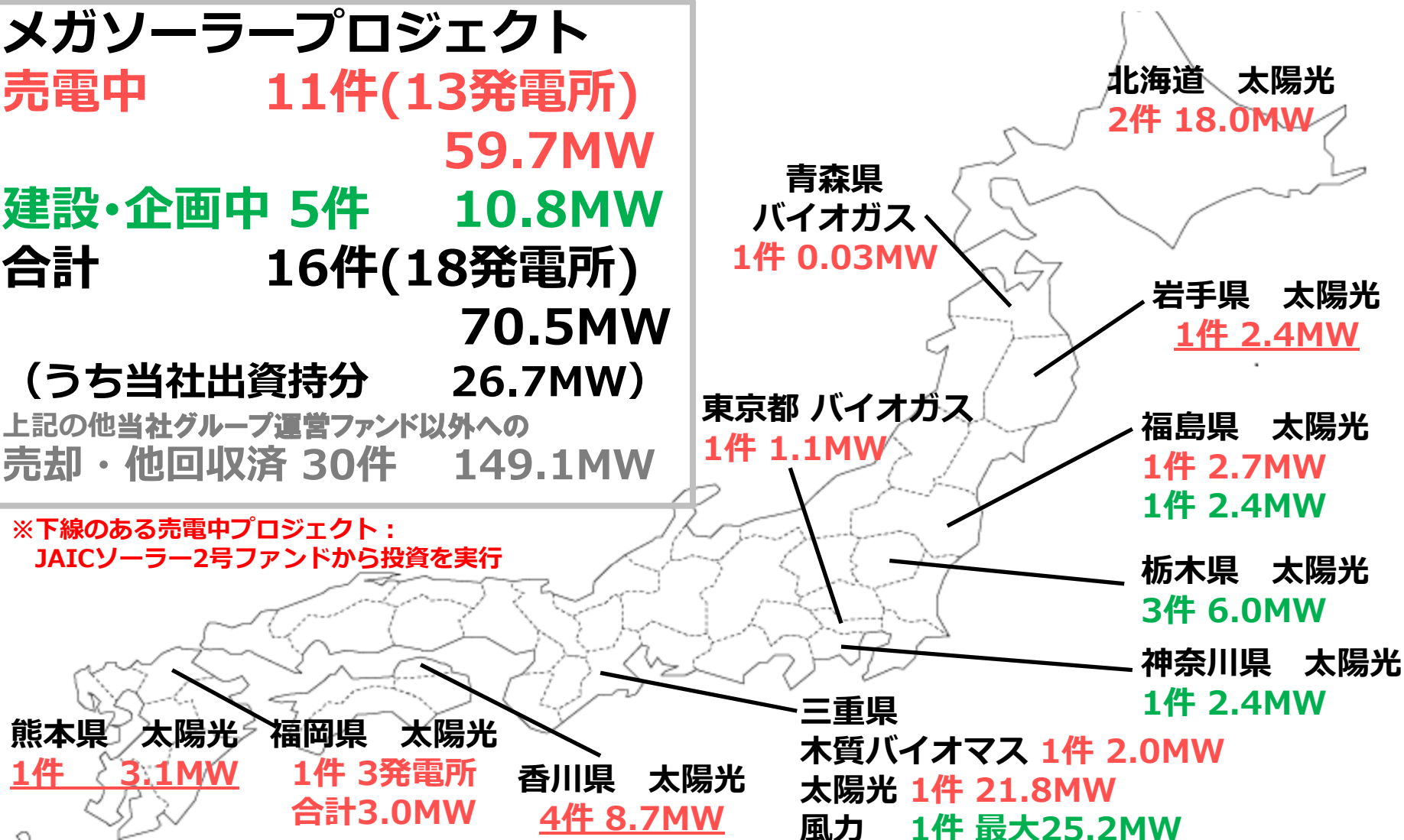
<http://www.ginkouin.com/>

再生可能エネルギープロジェクト一覧	P21
プロジェクト投資 案件一覧	P22
戦略投資先企業一覧	P25
アジアネットワーク	P26
主要データの推移	P27
営業収益・営業原価 内訳	P29
投資領域	P30
JAICの強み	P31
収益構造	P32
SDGsへの取り組み	P34
会社概要	P35

## メガソーラープロジェクト

売電中	11件(13発電所)	59.7MW
建設・企画	5件	10.8MW
合計	16件(18発電所)	70.5MW
(うち当社出資持分)		26.7MW
上記の他当社グループ運営ファンド以外への 売却・他回収済	30件	149.1MW

※下線のある売電中プロジェクト：  
JAICソーラー2号ファンドから投資を実行



※各プロジェクトに対する当社の出資比率はプロジェクト毎に異なるため、当社の投資額や当社に帰属する売電収益の金額は、必ずしもプロジェクトのMW数に連動しておりません。

## プロジェクト投資 案件一覧-1 (2021年9月末)



プロジェクト種類		発電所名/所在地	発電容量 (MW)	プロジェクト進捗状況	FIT (税抜、円)
メガソーラー発電	1	熊本県球磨郡錦町 (※)	3.1	売電中 (2015年12月売電開始)	40
	2	野間池ソーラー発電所 (※)	2.4	売電中 (2017年5月売電開始)	36
	3	御田神辺池ソーラー発電所 (※)	1.5	売電中 (2017年9月売電開始)	32
	4	岩手一関ソーラーパーク (※)	2.4	売電中 (2018年1月売電開始)	36
	5	中王田池ソーラー発電所 (※)	2.4	売電中 (2018年4月売電開始)	36
	6	東王田池ソーラー発電所 (※)	2.4	売電中 (2018年7月売電開始)	36
	7	北海道紋別市弘道太陽光発電所	15.7	売電中 (2020年2月売電開始)	40
	8	津太陽光発電所	21.8	売電中 (2021年5月売電開始)	24
	9	福島県	2.4	建設・企画中	32
	10	広野ソーラーパーク	2.7	売電中 (2020年2月売電開始)	40
	11	厚岸ルークシュポール太陽光発電所	2.3	売電中 (2020年5月売電開始)	40
	12	神奈川県	2.4	建設・企画中	32
	13	うきは市しらかべ太陽光発電所、 うきは市みずのさと太陽光発電所、 うきは市みのうアルプス太陽光発電所	合計3.0	売電中 (2020年3月~5月売電開始)	36
	14	栃木県	2.0	建設・企画中	36
	15	栃木県	2.0	建設・企画中	32
	16	栃木県	2.0	建設・企画中	32
合計 70.5MW (うち当社出資持分 26.7MW)					

※：JAICソーラー2号投資事業有限責任組合から投資しているプロジェクト。

## プロジェクト投資 案件一覧-2 (2021年9月末)



プロジェクト種類		所在地	発電容量 (MW)	プロジェクト進捗状況	FIT (税抜、円)
木質バイオマス発電		三重県松阪市	2.0	売電中 (2018年1月売電開始)	-
バイオガス発電	1	東京都羽村市	1.1	売電中 (2021年3月売電開始)	39
	2			バイオガスを生成する食品リサイクル会社 (バイオガス発電所オペレーター)	-
	3	青森県上北郡東北町	0.03	売電中 (2018年11月売電開始)	39
風力発電		三重県	最大25.2	建設・企画中	22

## プロジェクト投資 案件一覧-2 (2021年9月末)



プロジェクト種類		所在地	規模	プロジェクト進捗状況
植物工場		兵庫県丹波篠山市	年間生産量 合計約470t	操業中（既設部分2019年3月稼働、増設部分2021年12月本格稼働予定）
高齢者向け施設	1	東京都江東区東雲	8階建複合施設 定員100名	建設・企画中
	2	東京都港区南青山	5階建 定員61名	建設・企画中
障がい者グループホーム	1	静岡県浜松市	入居者用20部屋、短期入所用2部屋	営業中（2020年8月営業開始）
	2	栃木県宇都宮市	同上	営業中（2021年9月営業開始）
	3	広島県広島市	同上	営業中（2020年8月営業開始）
	4	埼玉県加須市	同上	建設・企画中
	5	茨城県古河市	同上	建設・企画中
	6	群馬県館林市	同上	建設・企画中
	7	埼玉県川越市	同上	建設・企画中
商業ビル		愛知県	敷地面積 1,752m <sup>2</sup> 、地下1階地上6階建	営業中（既存ビルへの投資）
物流施設	1	埼玉県越谷市	延床面積 11,250m <sup>2</sup> 、地上4階建	建設・企画中（2021年10月竣工）
	2	神奈川県厚木市	延床面積 10,890m <sup>2</sup> (予定)、地上2階建	建設・企画中
	3	神奈川県海老名市	未定	建設・企画中
	4	埼玉県狭山市	延床面積約 15,123m <sup>2</sup> 、地上4階建	建設・企画中
	5	非公開	非公開	建設・企画中



## 戦略投資先企業一覧



リニューアブル・ジャパン株式会社

メガソーラープロジェクトのパートナー企業

初回投資時期 : 2015年



スマートソーラー株式会社

メガソーラープロジェクトのパートナー企業

初回投資時期 : 2017年



ソーシャルインクルー株式会社

障がい者グループホームプロジェクトのパートナー企業

初回投資時期 : 2019年



株式会社森久エンジニアリング  
株式会社モーベルファーム  
(株)森久エンジニアリング子会社)

スマートアグリ(野菜)プロジェクトのパートナー企業

初回投資時期 : 2019年



MD-Farm株式会社

スマートアグリ(イチゴ)プロジェクトのパートナー企業

初回投資時期 : 2019年



KICホールディングス株式会社

ディストリビューションセンター(物流施設)投資のパートナー企業

初回投資時期 : 2020年

# アジアネットワーク



## 【瀋陽】（ファンド出資者）

- ・瀋陽市渾南新区市政府（協力協定先）
- ・瀋陽高新技术産業開発区
- ・瀋陽万科企業有限公司

## 【天津】（ファンド出資者）

- ・天津エコシティ

## 【煙台】（提携先）

- ・煙台市政府（当社代表が新興産業国際顧問に就任）
- ・煙台市投資促進センター（協力協定先）

## 【青島・山東半島藍色経済区】（提携先）

- ・藍色経済区産業ファンド（戦略的提携先）
- ・青島市政府（当社が国際投資促進顧問に就任）

## 【青島】（協力先）

- ・中国青島（日本）商工センター

## 【成都】（提携先）

- ・成都高新技术産業開発区管理委員会（協力協定先）
- ・上海利暘文化科技發展有限公司（協力協定先）

## 【西安】（提携先）

- ・西安高新技术産業開発区（協力協定先）

## 【武漢】（提携先）

- ・武漢市商務局（協力協定先）

## 【蘇州】（100%子会社）

## 【瀋陽】（100%子会社）

## 【天津】（100%子会社）

## 【上海】（100%子会社）

## 【日本】（提携先）

- ・(株)アジアマーケット企画
- ・AIS CAPITAL(株)

## 【上海】（ファンドの共同運営）

- ・サイバーエージェント・キャピタル

## 【香港】（株主・提携先）

- ・First Eastern Investment Group

## 【ハノイ・ホーチミン】

- ・Vietnam Maritime Commercial Joint Stock Bank（提携先）
- ・(株)ワールド・リンク・ジャパン（協力先）

## 【バンコク】（提携先）

- ・KT Zmico Securities Company Limited
- ・VNET Venture Capital Management Securities Co.,Ltd.

## 【シンガポール・マレーシア・インドネシア】 協力先

- ・BA Partners Pte.Ltd.（当社OB運営会社）
- ・Lingua Franca Holdings Pte.Ltd.（当社OB運営会社）

## 主要データの推移 ①



### ・ファンドの状況、投資の状況

(単位：百万円)	17/3	18/3	19/3	20/3	21/3	21/3(2Q)	22/3(2Q)
ファンド設立・増加額	500	1,000	2,000	1,359	151	151	1,001
ファンド運用残高 ※1	28,753	19,150	16,494	17,390	16,450	17,567	15,884
うち 当社グループ出資額 ※1	9,427	5,867	5,344	5,163	5,434	5,239	4,716
投資/融資実行額 総額 ※2	4,315	3,887	3,749	3,374	1,767	654	2,214
投資/融資残高 総額 ※2	16,558	13,981	13,951	15,101	12,855	14,585	14,741
投資/融資実行額 プロジェクト投資※2	3,184	2,681	3,612	2,150	1,445	495	932
投資/融資残高 プロジェクト投資※2	4,576	3,582	5,514	6,696	6,088	6,209	6,986
投資/融資実行額 プライベートエクイティ投資※2	1,131	1,205	136	1,224	322	158	1,282
投資/融資残高 プライベートエクイティ投資※2	11,981	10,398	8,437	8,405	6,767	8,375	7,754

※1 投資資産を保有した状態で清算期間に入るファンドが増加したため、2021年3月期より、清算期間中のファンドを含めています。

※2 当社グループによるプロジェクトに対する融資実行が増加したため、2021年3月期より、プロジェクトに対する融資（破産更生債権等を除く）を含めています。

## 主要データの推移 ②



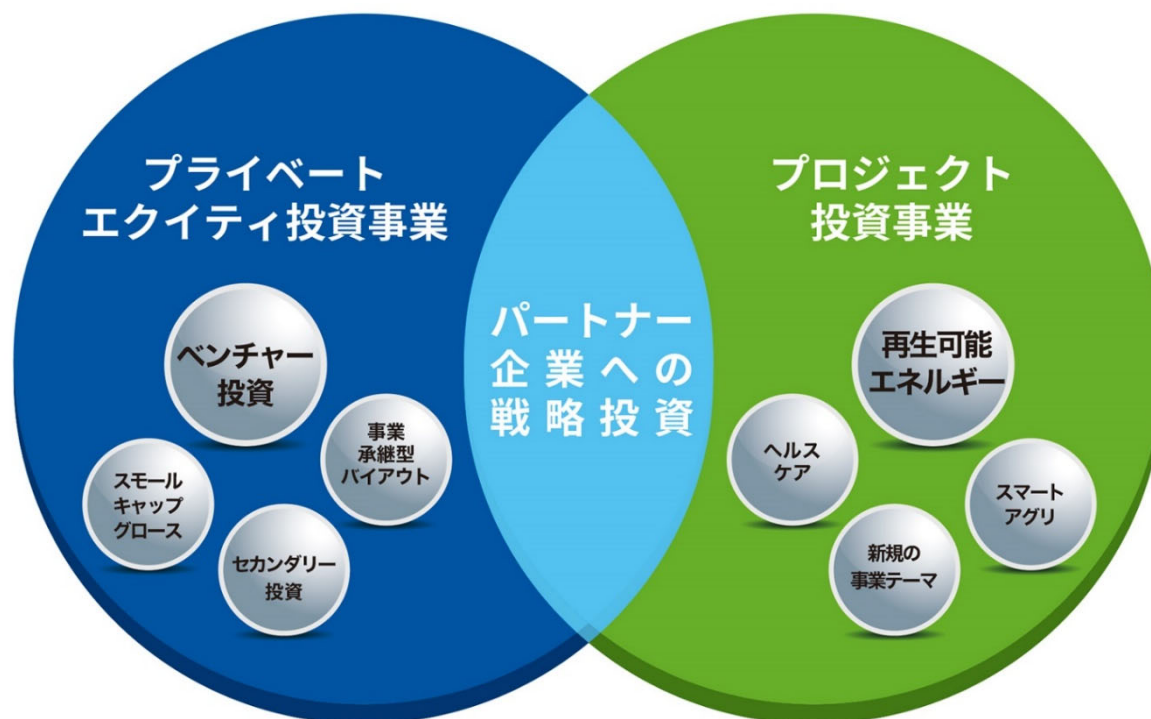
## ・業績、財務状況

(単位：百万円)	17/3	18/3	19/3	20/3	21/3	21/3(2Q)	22/3(2Q)
<b>業績</b>							
営業収益	3,926	5,403	2,475	2,760	3,089	541	381
営業総利益	2,176	2,328	1,286	1,359	1,301	227	53
販売費及び一般管理費	1,339	1,311	1,109	1,094	1,086	544	550
営業利益	836	1,017	177	265	214	△316	△496
経常利益	726	954	83	140	173	△335	△538
親会社株主に帰属する当期純利益	553	874	578	302	144	△336	△643
<b>財務状況</b>							
現預金	6,213	7,308	5,564	3,920	3,699	3,515	2,015
営業投資有価証券・貸付金（プロジェクト投資）	4,081	3,582	5,514	5,437	5,583	4,915	6,475
営業投資有価証券（戦略投資投資）	100	373	373	1,005	1,155	1,155	1,483
引当後 営業投資有価証券（フィナンシャル投資）	7,256	5,657	4,765	4,282	3,111	3,926	2,974
借入金	14,128	11,954	9,784	8,166	6,950	7,469	6,253
自己資本	5,686	6,545	6,840	7,223	7,338	6,732	6,640
総資産	20,305	19,220	17,305	15,800	14,657	14,580	13,740

## 営業収益・営業原価 内訳



(単位：百万円)		17/3	18/3	19/3	20/3	21/3	21/3(2Q)	22/3(2Q)	増減率(%)
<b>1.</b>	<b>投資事業組合等管理業務</b>								
	管理運営報酬等	364	277	241	199	169	82	81	△1.8%
	成功報酬	101	86	-	-	-	-	-	-
	営業収益	466	364	241	199	169	82	81	△1.8%
	営業原価	-	-	-	-	-	-	-	-
	<b>営業総利益</b>	<b>466</b>	<b>364</b>	<b>241</b>	<b>199</b>	<b>169</b>	<b>82</b>	<b>81</b>	<b>△1.8%</b>
<b>2.</b>	<b>投資業務</b>								
	営業投資有価証券売却高	2,275	3,219	1,746	2,349	2,221	232	176	△24.3%
	組合持分利益・インカムゲイン等	1,159	1,677	429	172	648	198	95	△51.7%
	営業収益	3,434	4,897	2,176	2,521	2,870	431	272	△36.9%
	営業投資有価証券売却原価	1,423	2,469	554	965	1,249	85	131	53.1%
	営業投資有価証券評価損・ 投資損失引当金繰入額	274	562	579	245	194	△62	124	-
	組合持分損失等	46	36	49	184	336	285	66	△76.7%
	営業原価	1,744	3,069	1,182	1,395	1,780	309	322	4.2%
	<b>営業総利益</b>	<b>1,690</b>	<b>1,827</b>	<b>993</b>	<b>1,125</b>	<b>1,090</b>	<b>122</b>	<b>△50</b>	<b>-</b>
<b>3.</b>	<b>その他</b>								
	営業収益	25	142	57	40	49	26	27	2.5%
	営業原価	6	5	6	5	7	3	4	26.1%
	営業総利益	19	136	51	34	41	23	22	△1.3%
<b>合計</b>									
	<b>連結営業収益</b>	<b>3,926</b>	<b>5,403</b>	<b>2,475</b>	<b>2,760</b>	<b>3,089</b>	<b>541</b>	<b>381</b>	<b>△29.6%</b>
	<b>連結営業原価</b>	<b>1,750</b>	<b>3,074</b>	<b>1,188</b>	<b>1,401</b>	<b>1,788</b>	<b>313</b>	<b>327</b>	<b>4.4%</b>
	<b>連結営業総利益</b>	<b>2,176</b>	<b>2,328</b>	<b>1,286</b>	<b>1,359</b>	<b>1,301</b>	<b>227</b>	<b>53</b>	<b>△76.4%</b>



## プライベートエクイティ投資

成長性の高いベンチャー企業やスモールキャップ企業、事業承継問題を抱える中小・中堅企業に対し成長資金を投資します。投資後は、当社が日本とアジアに有するリソースを活用して、企業の成長戦略を支援します。

## 戦略投資

当社の注力する事業テーマに関連する企業に、戦略的な投資を行います。投資後は、当社が事業上のパートナーとなり、事業での協業を通じて、資金支援や営業支援を行います。

## プロジェクト投資

メガソーラーを始めとする再生可能エネルギーや、介護施設などのヘルスケア、植物工場などのスマートアグリ、物流施設のディストリビューションセンタープロジェクトに投資をしています。プロジェクトファイナンスによる融資資金を活用して投資の採算性を追求します。

## JAICの強み



投資候補となる企業やプロジェクトの発掘を通じて、専門性の高い、業界の最先端の動向を把握しています。

最先端の  
業界情報収集力

アジアでの歴史

1981年に経済同友会を母体に設立されて以来、35年に亘り日本とアジアの経済交流に貢献し、アジアでの高い知名度を有しています。

ファイナンス  
スキーム構築力

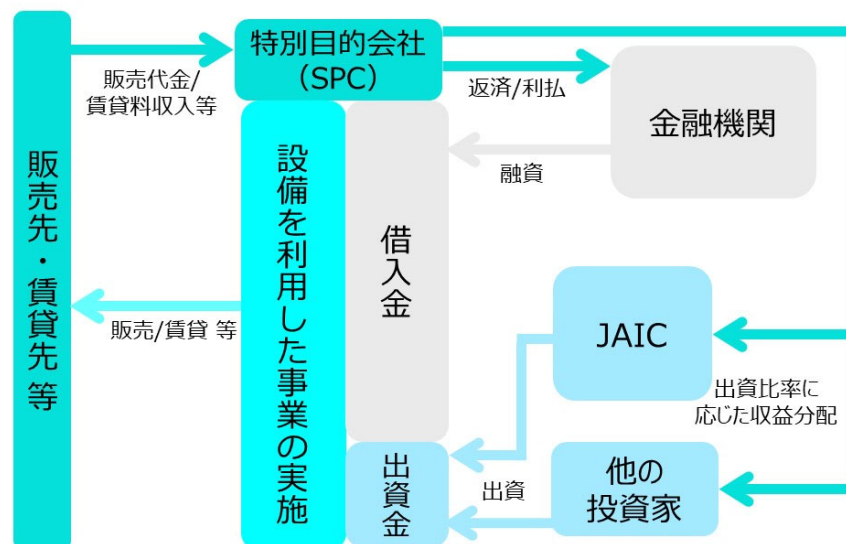
ベンチャー企業との  
ネットワーク

国内外で300社超の上場実績を有し、これまでの投資活動を通じて、多数のベンチャー企業と親密な関係を構築しています。  
そのネットワークを、投資先企業の支援や、当社が新規事業テーマを開拓する際のアライアンスに活用します。

国内外で3,300億円の累計投資実績を有しています。  
プロジェクト投資事業では、当社からの投資資金だけでなく、プロジェクトファイナンスなどの融資資金も交えた調達スキームを構築しています。

## 収益構造-プロジェクト投資

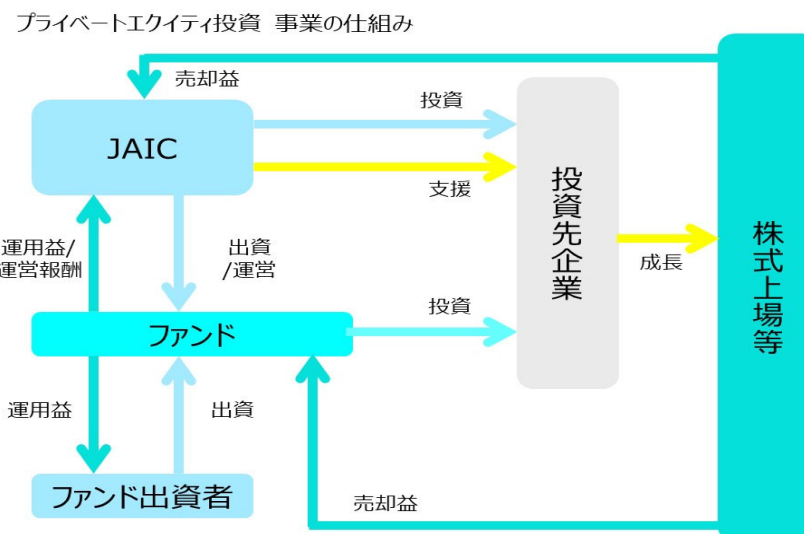
プロジェクト投資 事業の仕組み



- 発電所、工場、住居施設、倉庫といった設備を保有するSPC（特別目的会社）に対して投資を行い、これらの設備を建設し、完成後の設備の運営により生み出される利益から投資に対する分配を受けます。また、完成後に設備を売却して利益を得る場合もあります。
- 再生可能エネルギー、ヘルスケア（高齢者向け施設、障がい者グループホーム）、スマートアグリ（植物工場）、ディストリビューションセンター（物流施設）等のプロジェクトへ投資しています。
- プロジェクトの建設・運営にかかる資金の多くを金融機関からの負債性資金で調達することで、少額の投資資金で高い採算性を追及している点が特徴です。
- 加えて、多様な分野のプロジェクトに機動的に投資を行うために、プロジェクトの企画や開発に精通したベンチャー企業とパートナーシップを組んでいる点も特徴です。



## 収益構造 - プライベートエクイティ投資



- 日本を含むアジア地域におけるベンチャー企業や中堅・中小企業等を中心とした有望企業へ投資し、育成・支援を通じて投資先企業の企業価値を高め、株式の売却益を得ることを目的とした投資です。また、投資活動の過程で得る企業のニーズを基にM&Aの仲介業務も行います。
- プロジェクト投資のパートナー企業に対する「戦略投資」と、それ以外の「フィナンシャル投資」の2つの種類があります。
- 戦略投資を行った企業には、株主としての支援だけではなく、パートナーとして共にプロジェクトを運営し、その成長を支援します。
- フィナンシャル投資の特徴は、長年の経験により蓄積された上場支援に加え、広いネットワークを活用した海外展開支援や営業支援を行う点です。そのために、中国の政府系機関やアジア諸国のパートナー企業と業務提携などを行い、アジアのネットワークを構築しています。

# SDGsへの取り組み



SDGs投資会社である事を当社のコアバリューとし、経営理念に基づきSDGsを強く意識した投資活動を徹底する

Environment



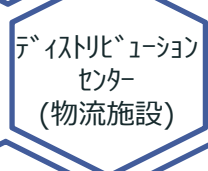
再生可能エネルギープロジェクトのパートナー企業に投資をするとともに、再生可能エネルギープロジェクトへの投資を通じて環境負荷の軽減に貢献します。



Social



植物工場プロジェクトへの投資を通じて、農業人口の減少や高齢化による諸問題や気候変動、食の安全に対するソリューションを提供します。



物流施設プロジェクトへの投資を通じ、生産性の高い社会の実現や地域産業の活性化と雇用の創出に貢献します。



ヘルスケアプロジェクト（介護施設、障がい者グループホーム）への投資を通じて、包摂的かつ安全でより住みやすい社会の実現に向けたソリューションを提供します。



投資先企業が行うイノベーションや既存事業の再活性化により、生産性向上や労働力の補完を促進します。また、中小企業の事業承継を支援するファンドの運営により、包摂的かつ持続可能な産業化を促進します。



Governance



取締役7名中4名が独立社外取締役／独立社外取締役を取締役会議長として起用／任意設定機関「評価委員」により業務執行取締役の人事・報酬の評価を実施／取締役会の実効性の自己評価の実施と結果の開示／実効性のある監査等委員会監査や内部監査の実施

## 会社概要（2021年9月末現在）



会社名	日本アジア投資株式会社（略称）JAIC		
本社所在地	東京都千代田区九段北3丁目2番4号		
設立年月日	1981年7月10日		
資本金	5,426百万円		
株式上場市場	東京証券取引所 市場第一部（証券コード：8518）		
従業員数	単体20名／連結39名		
事業領域	プライベートエクイティ投資、プロジェクト投資		
役員	取締役会長（独立社外）	川俣 喜昭	： 取締役会議長
	代表取締役社長	下村 哲朗	
	取締役（常務執行役員）	八田 正史	
	取締役	大森 和徳	： 監査等委員長
	取締役（独立社外）	安川 均	： 監査等委員
	取締役（独立社外）	沼波 正	： 監査等委員
	取締役（独立社外）	片桐 春美	： 監査等委員

# JAIC

## 日本アジア投資株式会社

<https://www.jaic-vc.co.jp>

I Rに関するお問合せ先：執行役員 岸本、管理グループ 丸山

I Rに関するお問合せアドレス：ir@jaic-vc.co.jp

（ご注意）本資料に記載された事項は、資料作成時点での当社の判断であり、その情報の正確性を保証するものではありません。また、今後予告なしに変更されることがあります。本資料に含まれる意見や予測などについては、様々な要因の変化により、実際の業績や結果とは大きく異なる可能性があることをご留意下さい。また、本資料は情報の提供のみを目的としており、当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的とするものではありません。なお、本資料内の業績数値は全て従来連結ベースにて表示しております。